

平成22年奈良県地価調査 結果概要

本県の地価は、厳しい経済情勢の中、需要が低迷し、全用途(林地除く。)の対前年平均変動率が▲3.3%となり、昨年と同じ下落率となった。

〈住宅地〉

- 平均では、▲3.2%(昨年▲3.3%)となり、昨年に引き続き2年連続の下落となった。
- 全ての継続調査地点(168地点)で下落となっている。
- 継続調査地点の下落幅については、昨年とほぼ同じ下落率となっている地点が多い。
- 大和平野地域を中心に駅接近性等の個別要因が劣る地点で比較的高い下落率となっている。
- 県東部・南部の都市計画外の地域では、概ね1%~2%前半の下落となり、昨年とほぼ同様の下落幅が継続している。

〈商業地〉

- 平均では、▲3.8%(昨年▲3.7%)となり、昨年に引き続き2年連続の下落となった。
- 継続調査40地点のうち39地点で下落となっている。
- 近鉄奈良駅前東向商店街の1地点が上昇となった。
- 旧来の駅前商店街等繁華性の劣る地点で比較的高い下落率となっている。